

令和2年12月25日

第36回「県民文化奨励賞」の贈呈について

一般財団法人ケンシン地域振興財団では、地域の文化活動に対する表彰事業を目的として、地域の文化活動の発展に功績のあった方々に「県民文化奨励賞」の贈呈を行いました。

1. 第36回「県民文化奨励賞」贈呈式

日時 令和2年12月16日（水）

場所 オリエンタルホテル広島

2. 受賞者

県民文化奨励賞

後藤 絢子 氏（音楽家）広島市在住

藤本 路加 氏（陶芸家）福山市在住

3. 受賞者の紹介

後藤 絢子 氏（音楽家）

後藤絢子氏は、昭和52年生まれ。福岡県出身。広島大学教育学部教科教育音楽科を卒業。大学在籍中よりチェコ、オランダにて研鑽を積む。

卒業後は、音楽教室の講師を勤める。卒業して2年後「広島交響楽団でヴァイオリンパートのオーディションがあるので受けてみないか」と大学時代に指導していただいた広島交響楽団の先生の勧めによりオーディションを受ける。演奏家のキャリアを平成14年よりスタートさせる。

広島交響楽団にて演奏をするほか、平成18年にはクーベリック・トリオ主宰 Prague Music Campに。平成21年にはアフィニス夏の音楽祭2009に参加。また、オーケストラでの演奏活動にとどまらず、様々なジャンルのアーティストと共演し音楽の可能性を模索。

平成16年からは広島県立中・高等学校において開校以来長年にわたり非常勤講師を務めたり、平成21年からは国立広島大学准教授として後進の指導にも力を注いでいる。

藤本 路加 氏 (陶芸家)

藤本路加氏は、昭和48年に福山市で誕生。平成7年京都造形芸術大学（現：京都芸術大学）芸術科彫刻コースを卒業。

透光性のある胎土の研究を進め、以前からモザイクガラスに憧憬の念を抱いていたこともあり、近年はモザイクガラスの技法を陶芸と融和させた制作を行っている。福山市の花であるバラをモチーフとした作品は人気が高い。

令和3年度より福山大学にて教養教育の陶芸の授業を担当する予定で、多くの学生に陶芸の楽しさを味わってもらいながら、技術を伝授することに努め、後進育成の一翼を担う。

その他の活動としては、平成18年からは一般社団法人広島県セクシュアルマイノリティ協会共同代表理事を務め、広島県や福山市、広島市などの行政と協働し性的マイノリティに関わる人権啓発と理解促進といった社会的活動にも関わっている。